2011年01月版

Valer（バレル）系 取扱説明書

保存用

ご使用になる前に

この取扱説明書は必ずヘルメットご使用前にお読みください。またお読みの後は、保管してくださいますようお願いいたします。

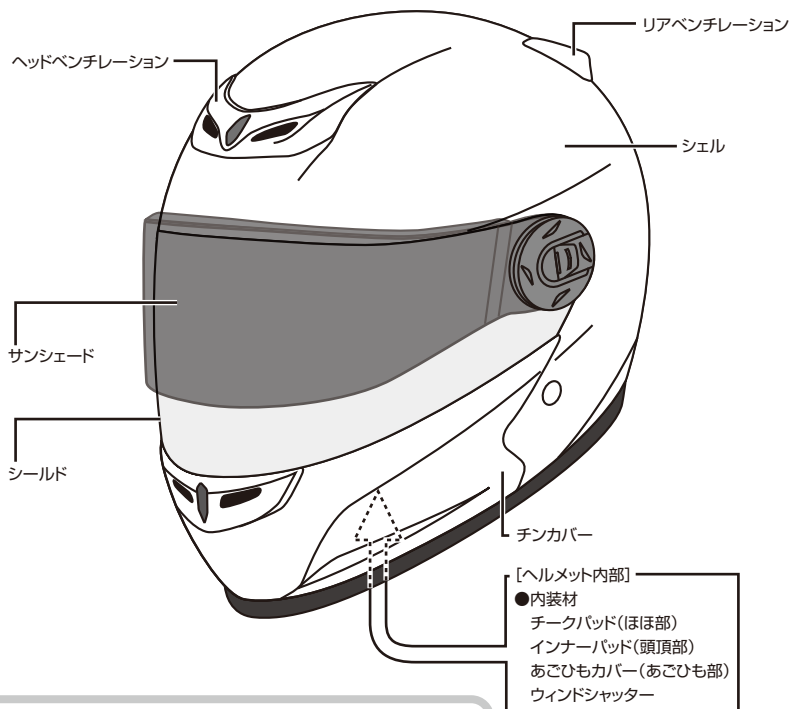
メットインスペースへの収納について

当製品は車種により「メットインスペース」への収納ができない場合があります。
あしからずご了承ください。

Valer 取扱説明書･インデックス

●商品に関するお問い合わせ:

株式会社 オージーケーカブト
〒577-0016 大阪府東大阪市長田西6丁目3-4 **TEL: 06-6747-8031**

Valer おもな部位の名称

※サンシェードを取り外した場合

ご使用になる前に

**このたび、当製品をお買い上げ頂き、ありがとうございます。
この取扱説明書はお買い上げいただいたヘルメットの正しい取扱方法について説明してあります。ご使用になる前に必ず最後までお読みください。
またお読みの後は大切に保管してくださいますようお願いいたします。
ヘルメットはいかなる事故にも、絶対という訳ではありません。万一の際に危険の度合いを減らす装備の一つであり、安全の一要素にすぎません。
安全快適なバイクライフを楽しむためにも、以下の注意事項をよくご理解いただきますようお願いいたします。**

 頭に合ったサイズのヘルメットを、お選びください。

大きすぎるヘルメットは、走行中ぐらつき危険です。また小さすぎるヘルメットは、頭を締めつけ痛くなる可能性もあるので、頭によく合ったヘルメットをお選びください。

 あごひもは必ずしっかり締めてください。

あごひもを締めていなかったり、締め方がゆるいと、万一転倒した時などに脱げてしまい、頭を守る事ができず非常に危険です。

 大きな衝撃を受けたヘルメットは外観上に損傷がなくても、ご使用にならないでください。

ヘルメットはシェル及び衝撃吸収ライナーが潰れることで、衝撃エネルギーを吸収します。大きな衝撃を受けたヘルメットは、既にライナーが潰れている場合が多く、そのまま使用すると、再度衝撃エネルギーを吸収できず非常に危険です。外観にキズ等がなくても、使用しないでください。

 ヘルメットの改造は絶対にしないでください。

ヘルメットに穴を開けたり、内部の衝撃吸収材を削ったり、また、あごひもなどは絶対に改造しないでください。ヘルメット本来の性能が発揮できなくなり非常に危険です。

 ヘルメットのお手入れは薄めた中性洗剤でふき取るようにしてください。

ガソリン、シンナー、ベンジン、熱湯（50℃以上）や、塩水等は絶対に使用しないでください。

 ヘルメットを塗りかえる時のご注意

シェル及び衝撃吸収ライナーは、塗料や熱の影響により材質が侵され、衝撃吸収力が低下する場合があります。また、乾燥に50℃以上の熱を必要とする塗料は使用できません。ヘルメットを塗りかえる必要のある場合は専門の業者にご依頼ください。

 ヘルメットは大切に取扱ってください。

ヘルメットは丈夫だからといって、床等に放り投げたり、上に座ったりしないでください。その度に衝撃を吸収するため、衝撃吸収力が低下します。万が一の為に大切に取扱ってください。
また、乗車時での頭を保護する以外の目的には使用しないでください。

ヘルメットの保管について

ヘルメットは直射日光の当たる車の中や、暖房機のそばなど、高温（50℃以上）の場所に長時間放置しないでください。（ヘルメットに使われている材質が変質して、性能が低下します。）また、落下しやすい、オートバイの上や高所などでの保管はしないでください。

シールドのお手入れについて

シールドなどの取り付けビスは、定期的に増し締めを行ってください。走行時の振動で取り付けビス等が徐々にゆるむ場合があり、そのまま放置するとシールドやシールドカバーなどの部品が走行中に外れ、重大な事故につながるおそれがあります。

フルフェイスヘルメット使用上のご注意

フルフェイスをご使用の場合、走行中のヘルメット内はほぼ一定の温度ですが、高速度で移動しているため周辺の環境は常に変化しています。そのため、突然の雨やトンネルに入った直後、峠道など高低差がある場合は、ヘルメット内の温度と周辺との気温差が生じるため、シールドが急激に曇ってしまう場合があります。この様な状況が予想される時は、あらかじめシールド開度の調整や適切なスピードにするなど注意をするようお願いします。
なお、シールドの開閉操作及び、ベンチレーションシャッター操作は、必ず停止した状態で行ってください。走行中の操作は危険です。

乗車用ヘルメットの有効期間は、「購入後3年間」です。

ヘルメットは様々な状況下において使用されるために、見た目以上に劣化が進んでいることがあります。このため、SGマークにはヘルメットの耐久性を考慮して、「購入後3年間」と有効期限を定めて、ヘルメットに表示しております。有効期限を過ぎたヘルメットは、事故の際に十分な保護性能を発揮できない場合が多く、正常に使って異常が認められなくても、ご購入後3年以内に交換してください。

PSC・SGマークについて

「PSCマーク」

「P:Product（製品）」、「S:Safety（安全）」、「C:Consumer」の頭文字を略号としてマークで表しています。これは消費生活用製品安全法に基づき製造された製品に表示されるマークで、消費者に対して生命の危険や身体に特に危害に及ぼすおそれが多いと認められる製品を国が「特定製品」として指定していることを意味します。日本国内で販売されるヘルメットは、このマークが表示されていなければ、販売することはできません。

「SGマーク」

SGマークは、製品安全協会が定めたSG基準に適合している製品に表示されるマークです。
またSGマークは、万一ヘルメットに欠陥があり、製品安全協会の定めるSG基準に適合していないために着用者が損害を被った場合に、その損害を賠償するものです。なおこの制度はプロオートバイレースやサーカスなどの特殊な用途に用いている際の負傷や、SG基準が定めるヘルメットの性能を超える強い衝撃を受けたための負傷などは賠償の対象になりません。

（SGマークに関するお問い合わせ先）

〒110-0012 東京都台東区竜泉2-20-2 ミサワホームズ 三ノ輪 2F
（財）製品安全協会 ☎（03）5808-3300（代）

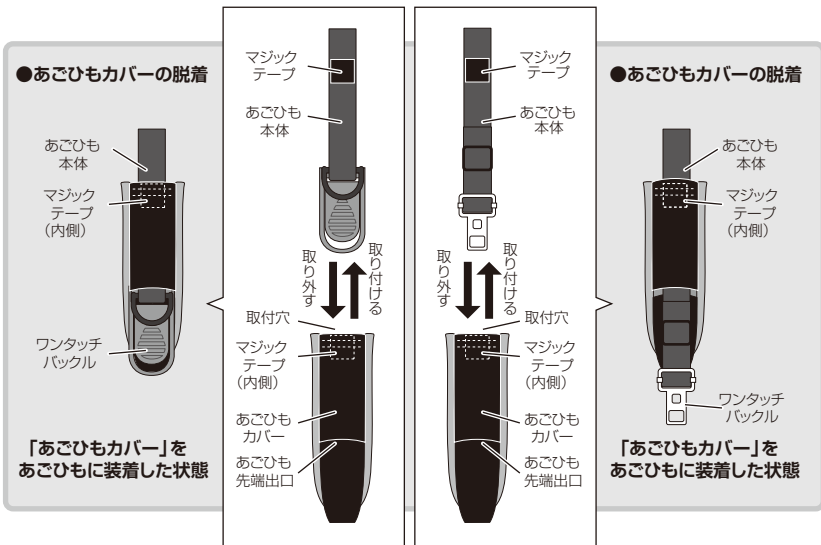
1 あごひもカバーの脱着方法

このヘルメットは、汚れた時などにあごひもカバーを取り外して洗うことが可能です。

●取り外しかた

①あごひもの根元にあるマジックテープより「あごひもカバー」のマジックテープを取り外します。
②「あごひもカバー」をあごひも本体より引き抜き、取り外したら完了です。

●取り付けかた

①取り外した逆の手順（あごひもカバーの表裏に注意）で、あごひもカバーの上方より、あごひもを通し、あごひもカバーの穴よりあごひもの先端を出します。
※あごひもカバーは、左右共通部品です。
②最後にあごひもに付いているマジックテープへしっかりあごひもカバーを押し付けてとめれば完了です。

ご注意

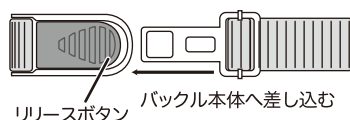
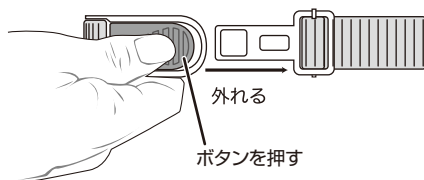
●あごひもカバーを取り付ける際は、あごひもカバーの表（レザー部分）・裏（あごに当る生地部分）の方向にご注意ください。

2 あごひもの取扱方法

●ワンタッチバックルの脱着

このヘルメットには、あごひもの脱着が簡単にできる「ワンタッチバックル」を採用しております。

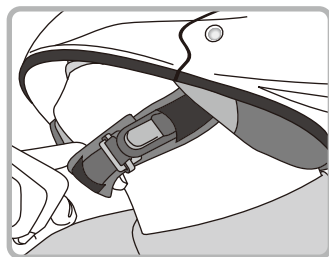
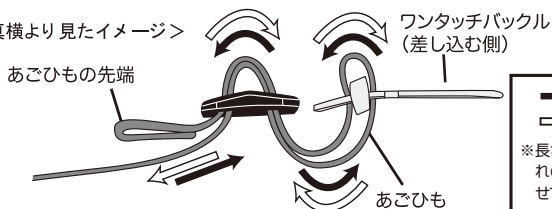
⚠警 告

ワンタッチバックルを装着しないでの走行や装着が不完全ですと、万一転倒した際にヘルメットが脱げてしまうおそれがあります。オートバイに乗る前に、確実に締まっているかを確認してから、走行してください。

●あごひもの長さ調整

〈 適正なあごひもの長さ 〉

ヘルメットをかぶり、ワンタッチバックルをしっかり締めます。

その際あごひもとのどの間に、人差し指一本入る程度が適正なあごひもの長さと言えます。

このときに、あごひもの長さが合っていない場合は、あごひもの長さ調整を行ってください。

⚠警 告

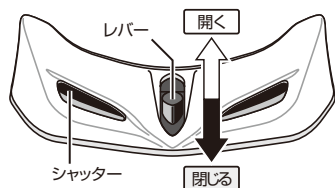
ワンタッチバックルをしっかり締めても、あごひもの長さが適正でないと、万一転倒した際にヘルメットが脱げたり、首元が必要以上に絞まったりするおそれがあります。あごひもはヘルメットの重要な部分ですので、慎重かつ正確に調整しましょう。

3 各ベンチレーションの操作方法

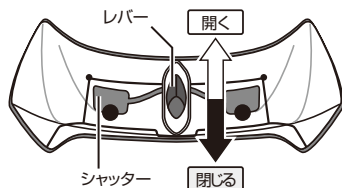
このヘルメットには、ヘルメット内部の温度調整を行うための「ヘッドベンチレーション」「チンベンチレーション」「リアベンチレーション」を装備しています。各ベンチレーションはシャッター付きですので、季節や天候など状況に合わせて開閉することができます。

[ヘッドベンチレーションの開閉操作]

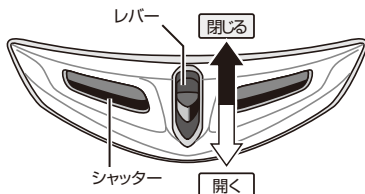
開けるとき　レバーを 上 にスライドさせると、エアダクトが開きます。

閉じるとき　レバーを 下 にスライドさせると、エアダクトが閉まります。

[リアベンチレーションの開閉操作]

開けるとき　レバーを 前 にスライドさせると、エアダクトが開きます。

閉じるとき　レバーを 後 にスライドさせると、エアダクトが閉まります。

[チンベンチレーションの開閉操作]

開けるとき　レバーを 下 にスライドさせると、エアダクトが開きます。

閉じるとき　レバーを 上 にスライドさせると、エアダクトが閉まります。

⚠警 告

ベンチレーションのレバー操作は、必ず停止した状態で行ってください。走行中の操作は集中力が散漫になり大変危険です。

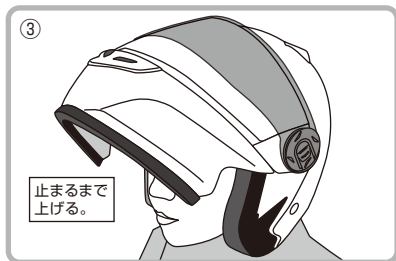
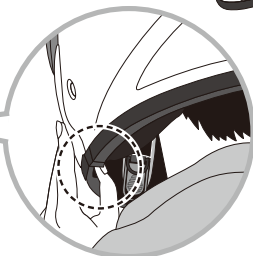
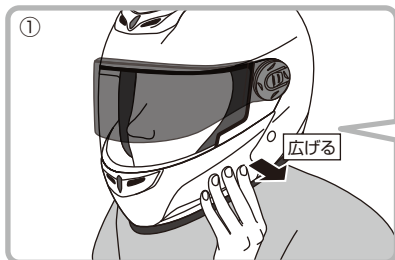
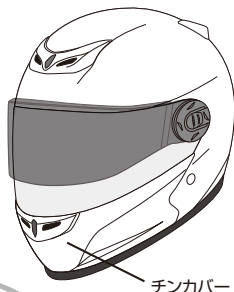
4 チンカバーの開閉

この製品は、チンカバーを開閉できるシステムを採用しています。

チンカバー

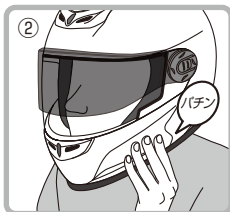
●チンカバーの開けかた

① 図の部分を親指で外側方向へ軽く押し広げます。

②・③外側方向へ押し広げた親指をチンカバーに沿って中央付近まで移動させ、チンカバーが止まるまで引き上げます。

※チンカバーは、全開・全閉状態以外では、固定されません。

●チンカバーの閉めかた

①図の部分を持ち下方向へ引き下げます。

②「パチン」と音がするまでチンカバーを下げます。

ご注意

●チンカバーを開く際は、やさしく取扱ってください。乱暴に開閉を行うと、チンカバーがシェル（帽体）に強く当たり、キズや破損の原因となるおそれがあります。

●チンカバーを開く際は、必ず「**上の図で示した**」部分を持って開いてください。他の部位を持ってチンカバーを開くと、チンカバー全閉時に固定するためのストッパーが破損し、チンカバーを閉じている場合でもチンカバーが不安定になる場合があります。

⚠警 告

●走行中の開閉操作は危険ですので絶対に行わないでください。開閉操作は必ず運転前もしくは停止してから行ってください。

●チンカバーは全開･全閉状態以外では固定されません。それ以外での角度で使用すると、チンカバーが視界を妨げる原因となり大変危険ですので、必ず全開･全閉状態でご使用ください。

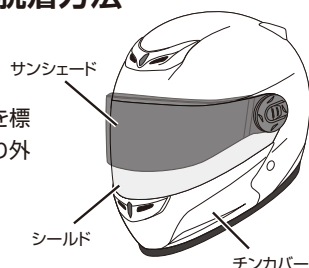
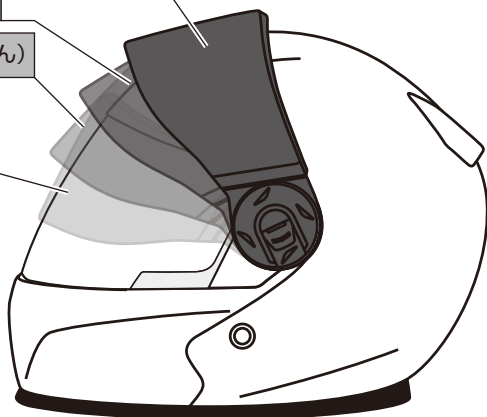
●チンカバーを開けたまま走行しないでください。開けたまま走行すると、チンカバーに過大な風圧がかかり、首を痛める場合や、重大な事故につながるおそれがあります。

●チンカバーはあくまでヘルメットの付属品であり、事故や転倒の衝撃から顔やあごを保護するものではありません。

●チンカバーを取り付けている「カラービス」は定期的に増締めを行ってください。走行時の振動などにより緩む場合があり、そのまま使用を続けると走行中に脱落し、重大な事故につながるおそれがあります。

5 サンシェードとシールドカバーの脱着方法

●サンシェードについて

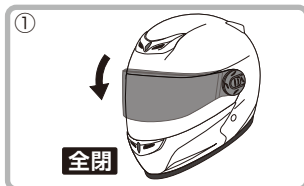
当製品は、日中のまぶしさを抑える「サンシェード」を標準装備しています。このサンシェードはお好みで取り外しが可能で、取り外した状態でも使用できます。

●サンシェードの開閉角度について

ご 注 意

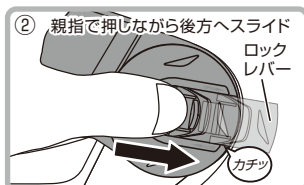
サンシェードを取り外す際は、必ず当説明書の手順で取り外してください。
無理に引っぱったり、違う手順で取り外すと、サンシェードやその他の部品が破損するおそれがあります。

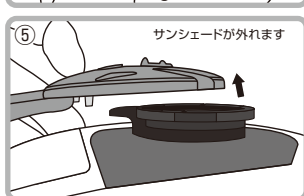
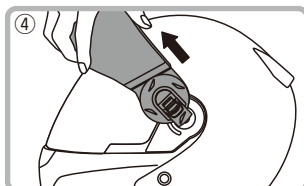
警 告

●サンシェードは、トンネル走行や夜間および雨天・降雪時など何らかの理由で視界が悪い場合などの状況下では使用しないでください。
●サンシェードは前方から飛来する小石や虫などで必ず傷が付く消耗品です。傷などが気になりはじめたら、交換することをお勧めします。

●サンシェードの取り外しかた ※取り外しは片側ずつ行います。

①サンシェード、シールド、チンカバーを **全閉** 状態にします。

②サンシェードのロックレバーを押しながら「カチッ」と音がするまでロックレバーを後方にスライドさせます。

※ロックレバーはサンシェードが **全閉** 状態以外では動きません。

③サンシェードをⒷの位置まで開きます。

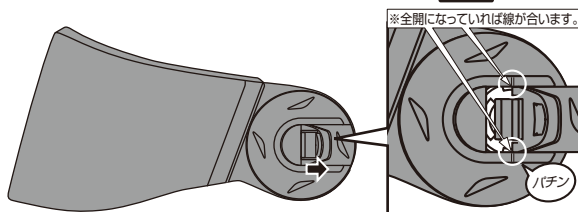
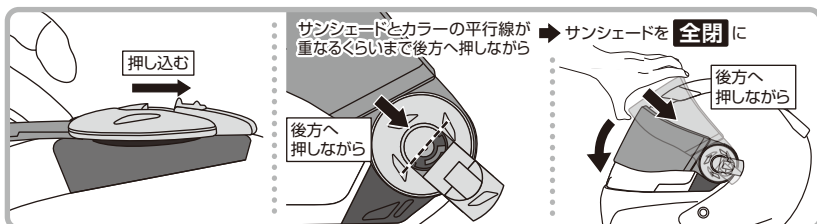
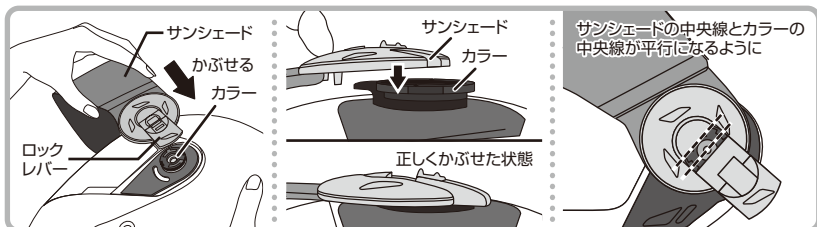
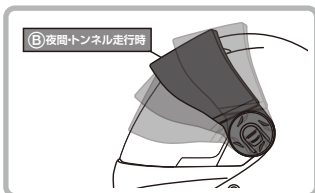
④・⑤サンシェードを手前に引っぱると外れます。この作業を反対側も同様に行うと、サンシェードが完全に取り外せます。

❗ご注意

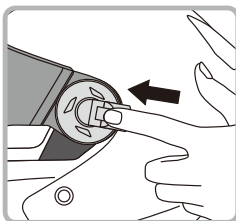
取り外したサンシェードは、キズが付かないよう慎重に取り扱ってください。
サンシェードにキズが付くと、視界を妨げる原因となります。また使用しないで保管する場合も、サンシェードにキズが付かないよう十分にご注意のうえ、保管してください。

●サンシェードの取り付けかた

※取り付けは左右いずれか片側ずつ行います。またこのときシールド、チンカバーは **全閉** 状態にします。

ご 注 意

取り付ける前にロックレバーが「パチン」というまで後方へ移動しているか確認してください。

①サンシェードをⒷの位置で、ヘルメット本体にある「カラー」へサンシェードのロックレバーの裏側をかぶせて合わせます。
このとき、カラーに刻印されている線とシールドの角度を合わせます。

② ①の状態のまま、サンシェードとカラーが勘合している部分の平行線が重なるくらいまで後方へ押さえながら、サンシェードを閉めます。

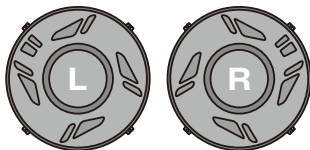
③最後にロックレバーを前方へスライドさせるとロックできます。
④この作業を反対側も同様に行うと、サンシェードの取り付けが完了です。

⚠警 告

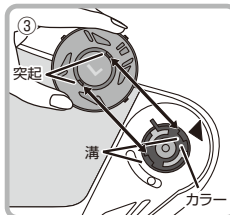
サンシェードを取り付けた後は、開閉動作が正常に行われるか、走行前に必ず確認したうえでご使用ください。取り付けが不完全ですと、走行中に脱落するおそれがあり重大な事故等の原因となります。

●シールドカバーについて

サンシェードを使用しない場合は、同梱されているシールドカバーを取り付けて使用します。

●シールドカバーの取り付けかた

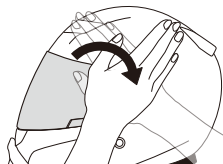
①「サンシェードの取り外しかた」をご覧のうえ、サンシェードを全て取り外します。
②シールドカバーの左右を確認します。
（シールドカバー裏面にLもしくはRの刻印がありますので、シールドラチェットの刻印と同じ方向で取り付けます）

※ヘルメットをかぶった状態でL=左、R=右

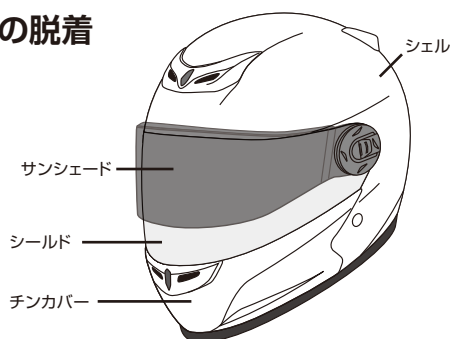
③シールドカバー裏側の突起をシールドラチェットの溝に合わせます。
④最後に矢印方向に手のひらで押さえながら軽く止まるまで回し、さらに回すとロックされます。

●この作業を反対側も同様に行うと、シールドカバーの取り付けが完了です。

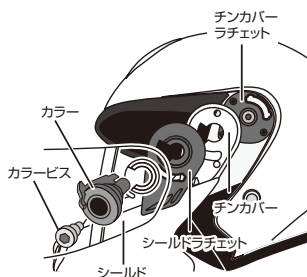
⚠警 告

シールドカバーを取り付けた後は、開閉動作が正常に行われるか、走行前に必ず確認したうえでご使用ください。取り付けが不完全ですと、走行中に脱落するおそれがあり重大な事故等の原因となります。

●シールドカバーの取り外しかた

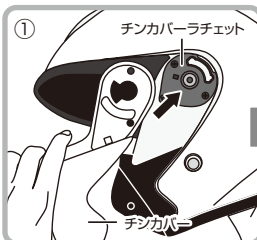
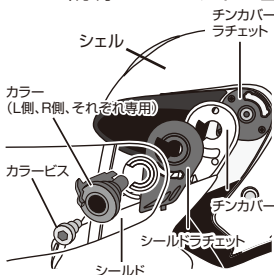
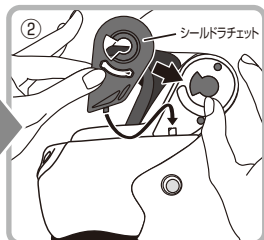
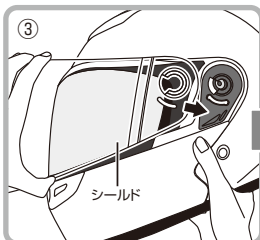
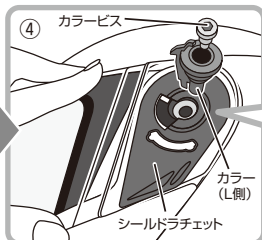
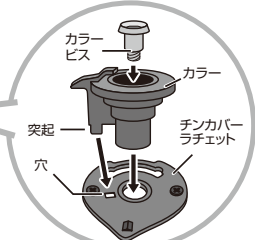
①シールドカバーを手のひらで押さえつけるようにしながら、矢印方向へ回すと取り外せます。
②この作業を反対側も同様に行うと、シールドカバーが完全に取り外せます。

6 チンカバー・シールドの脱着

「チンカバー」と「シールド」は別々の部品ですが、1本のビスで固定されているために、取り外しの際は同時に取り外す設計になっています。取り外した部品を紛失しないよう十分注意し、取り外し作業を行ってください。

●チンカバーとシールドの取り外しかた

①まず「5 サンシェードとシールドの脱着」を参照のうえ、サンシェードもしくはシールドカバーを全て取り外します。
②ヘルメット本体をしっかり持ち、同梱のM5六角レンチを使用して、カラービスを左方向（反時計回り）へ回すと、カラービス、シールド、チンカバーが同時に取り外せます。
③この作業を左右とも行うと以下の部品が取り外せます。

ご 注 意

●カラービスを取り外す際は、必ずM5（5mm）六角レンチを使用し、ビスに対して垂直に回すようにしてください。レンチサイズが合っていない場合や、レンチを垂直に回さないとカラービスが破損する場合があります。
●取り外したシールドは、キズが付かないよう慎重に取り扱ってください。シールドにキズが付くと、視界を妨げる原因となります。

●チンカバーとシールドの取り付けかた

<この説明ではシールドを全閉状態のままで、左側（L側）より取り付けます>

①チンカバーを全閉状態のままで帽体にかぶせます。

②シールドラチェットをチンカバーのラチェット取り付け部に合わせます。

③その上にシールドを全閉状態でかぶせます。

④カラーの裏側にある突起をチンカバーラチェットにある穴へ合わせて押し込みます。

⑤最後にカラーが浮かないように注意しながら同梱のM5六角レンチを使用して、カラービスを右方向（時計回り）へ回すと、取り付け完了です。この作業を反対側も同様に行うと、チンカバーとシールドの取り付けは完了です。

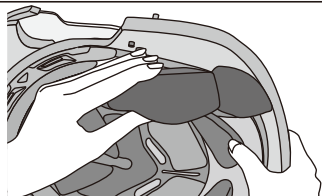
❗ご 注 意

カラービスを締める前に必ずカラーの突起がチンカバーラチェットの穴に入っていることを確認してください。**穴に入っていないままカラービスを締めると、カラーが破損します。**

⚠警 告

- ●チンカバーおよびシールドを取り付けた後は、走行前に必ずチンカバーとシールドの開閉動作が正常に行われるか確認したうえでご使用ください。取り付けが不完全ですと、走行中に脱落するおそれがあり重大な事故等の原因となります。
- ●チンカバーを取り付けている「カラービス」は定期的に増締めを行ってください。走行時の振動などにより緩んでいる場合があり、そのまま使用を続けると走行中に脱落し、重大な事故につながるおそれがあり大変危険です。

7 チークパッドの脱着

このヘルメットは、汗やホコリなどで汚れたとき、チーク（ほほ）パッドを取り外せば、丸ごと洗える「内装脱着システム」を採用しております。また、お持ちのヘルメットサイズと違うサイズのチークパッド(P.20「補修パーツ一覧」を参照)を取り付ける事もできますので、お好みに合わせてサイズフィッティングが可能です。

	S	M	L	XL
厚さ	厚い ◀			▶ 薄い
フィット感	きつい ◀			▶ ゆるい

●チークパッドの取り外しかた

チークパッドをしっかりと持ち、取り付けスナップを外し、抜き取れば取り外せます。

ご 注 意

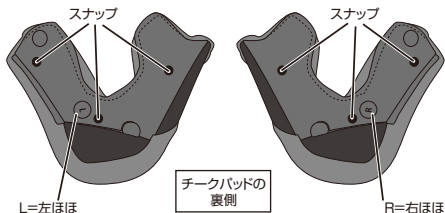
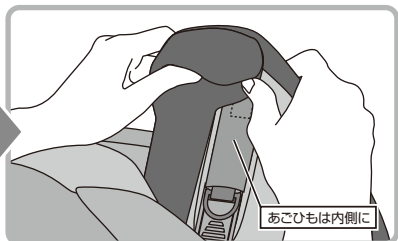
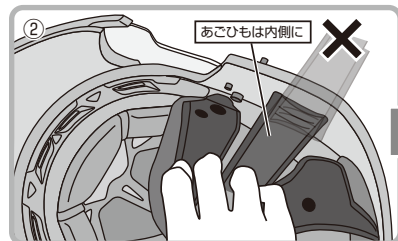
チークパッドを取り外す際は、無理に引っぱらないで取り付けホックの根元から外すようにしてください。無理に引っ張ったりすると、スナップ部分が破損するおそれがあります。

●チークパッドの取り付けかた

①チークパッドの方向を確認します。
（チークパッド裏面にR･Lの刻印があります）

②チークパッドの両端にある芯材部分を衝撃吸収ライナー（発泡スチロール）とシェルの隙間に差し込みながら、ヘルメット内側にある突起とチークパッド裏側にある3つのスナップを合わせて強く押し込むと取り付けできます。（このときあごひもは内側にしてください）

※ヘルメットをかぶった状態で右側=R･左側=Lとなります。

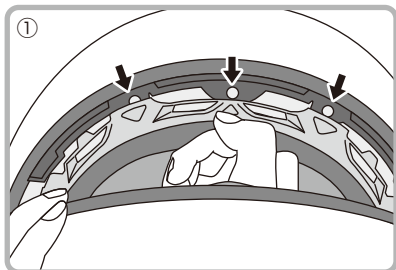
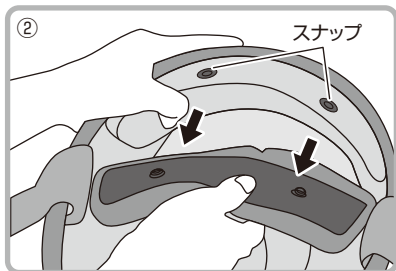
③この作業を反対側も同様に行うと、チークパッドの取り付けは完了です。

ご 注 意

チークパッドが完全に取り付けられていることを確認してから走行してください。
また正しく取り付けられていない場合や取り付けずに走行するのは危険ですのでおやめください。

8 インナーパッドの脱着

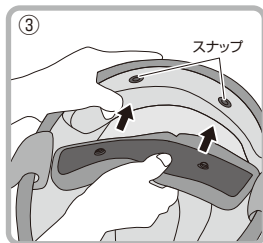
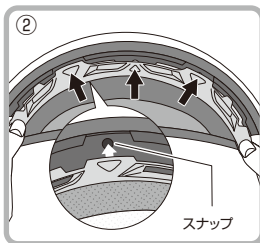
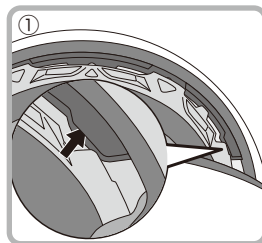
このヘルメットは、汗やホコリなどで汚れたとき、インナーパッドを取り外せば、丸ごと洗える「内装脱着システム」を採用しております。

●インナーパッドの取り外しかた

①図のように、額付近のスナップを下方向に引っぱり、取り外します。

③次に後頭部にある、2箇所のスナップを外せば、インナーパッドを全て取り外せます。

ご注意

●インナーパッドを引っぱる際、無理な力をかけずに引っぱるようにしてください。無理に引っぱると、インナーパッドが破損するおそれがあります。

●インナーパッドの取り付けかた

①図1のようにこめかみ部分の芯材をはじめに差し込みます。
②図2のように本体にある、3箇所のスナップをそれぞれ押し込みます。
③最後に後頭部にある2箇所のスナップを取り付けると、インナーパッドの取り付けが完了です。

ご注意

インナーパッドが確実に取り付けられていないと、走行中にヘルメットがずれる可能性があり、大変危険です。スナップは確実に取り付けてください。
ヘルメットの装着感をより良くするためにも、パッド類の装着は正確に行ないましょう。

瞬間消臭素材「MOFF」について

当製品のあごひも本体およびインナーパッドの一部メッシュ部分には、ナノテク技術を利用した従来とは全く異なる新しい消臭方法を採用した素材「MOFF」を使用しています。「MOFF」は瞬間消臭効果･安全性に加え、環境への影響もない次世代の消臭繊維です。

[MOFF素材のお手入れについて]
汗などで汚れた場合のお手入れは、水もしくはぬるま湯(35℃以下)のみで軽くすすいで汚れを落とし、しっかり水気を拭き取ってから、陰干しするとMOFF本来の効果が持続できます。なお洗浄剤を使用する場合は、中性の洗たく用洗剤を使用してください。(アルカリ性洗剤はMOFFの効果が減少しますので使用しないでください)

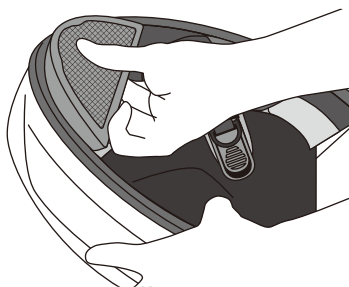
取り外した内装材の洗浄・メンテナンスについて

●取り外した内装パッドを洗濯機で洗う場合は、中性の洗たく用洗剤を使用し、必ず洗たくネットに入れてから洗ってください。また洗たく後は、しっかり水気をきり、直射日光の当たらない風通しの良い場所でかげ干しを行ってください。
●回転式乾燥機能付の全自動洗濯機などで、乾燥温度が50℃以上になるような場合は、必ず手洗いを行い、しっかり水気をきってからかげ干ししてください。
●雨天走行後など、パッドが濡れてしまった場合は、そのまま放置せず乾いた布で水気をしっかりふき取ってから、かげ干ししてください。
●各パッドは、“消耗品”です。生地が傷んだりフィット感が悪くなってきたら、パッドの交換をおすすめいたします。

9 ウィンドシャッターの着脱

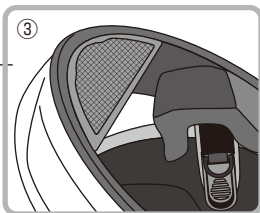
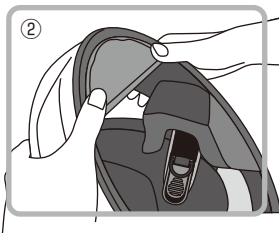
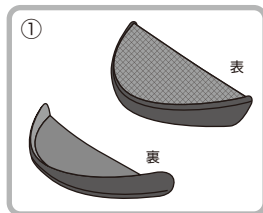
このヘルメットには、標準付属品として「ウィンドシャッター」が標準装着されています。このパーツは、走行中に発生するあご付近からの風の巻き込みを軽減するもので、季節や用途に応じてお好みで着脱できます。

●ウィンドシャッターの取り外しかた

ヘルメットをウィンドシャッター中央の芯材付近をしっかり持ち、手前に引っぱると、取り外せます。

ご 注 意

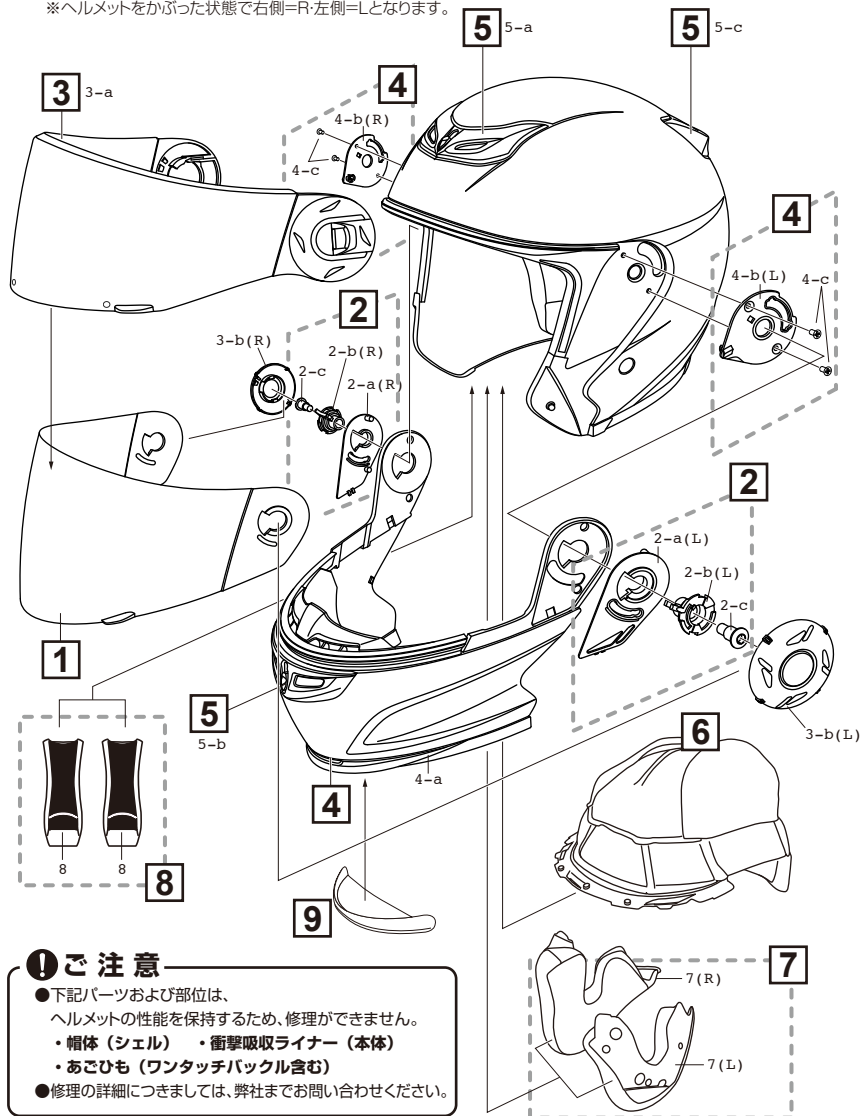
●ウィンドシャッターを取り外す際は、必ず芯材付近をお持ちください。生地だけを引っぱると、生地が傷むおそれがあります。

●ウィンドシャッターの取り付けかた

①まず（図１）をご覧のうえ、「表」と「裏」をお間違えないよう、ご確認ください。
②次に（図2）のように、ヘルメットを裏返し、ヘルメット前方（あご部分）の縁ゴムとあごパッドの間へウィンドシャッターの芯材をしっかり押し込んで取り付けます。
③縁ゴムの縁とウィンドシャッターの表面がほぼ平面になるよう、セットしたら取り付け完了です。

ご 注 意

●取り付けは確実に行ってください。取り付けが不完全ですと、走行中に脱落するおそれがあります。
●取り付ける際、接着剤などは使用せず、必ず上記の方法での取り付けを行ってください。接着剤などの成分により、ヘルメットの材質が冒されるおそれがあります。

●VALERシリーズ 補修パーツリスト

※ヘルメットをかぶった状態で右側=R･左側=Lとなります。

❗ご 注 意

●下記パーツおよび部位は、
ヘルメットの性能を保持するため、修理ができません。

・帽体（シェル）　・衝撃吸収ライナー（本体）

・あごひも（ワンタッチバックル含む）

●修理の詳細につきましては、弊社までお問い合わせください。

VALERシリーズ・補修パーツ／価格表

	パーツ名称	パッケージ内容	価格(税込)
1	VALER シールド	1: VALER シールド(標準:クリア) × 1枚	¥3,150
2	VALER シールドラチェットセット	2-a: VALER シールドラチェット(左右) × 1セット	¥525
	VALER カラーセット	2-b: VALER カラー(左右) × 1セット	¥210
	VALER カラービスセット	2-c: アルミビス × 2本	¥420
3	VALER サンシェード	3-a: VALER サンシェード(標準:スモーク) × 1枚	¥3,150
	VALER シールドカバーセット	3-b: VALER シールドカバー(左右) × 1セット	¥420
4	VALER チンカバー	4-a: VALER チンカバー × 1個	¥4,200
	VALER チンカバーラチェットセット	4-b: VALER チンカバーラチェット(左右) × 1セット 4-c: VALER チンカバーラチェットビス(小) × 4本	¥525
	VALER チンカバーラチェットビスセット	4-c: VALER チンカバーラチェットビス(小) × 4本	¥210
5	VALER ヘッドベンチレーション	5-a: VALER ヘッドベンチレーション × 1個	¥1,050
	VALER チンベンチレーション	5-b: VALER チンベンチレーション × 1個	¥1,050
	VALER リアベンチレーション	5-c: VALER リアベンチレーション × 1個	¥1,050
6	VALER インナーパッド	6: VALER インナーパッド (S·M·L·XL) × 1個	¥2,625
7	VALER チークパッドセット	7: VALER チークパッド(左右/S·M·L·XL) × 1セット	¥2,100
8	VALER あごひもカバーセット	8: VALER あごひもカバー(左右共通) × 1セット	¥1,050
9	VALER ウィンドシャッター	9: VALER ウィンドシャッター × 1個	¥1,050

※上記パーツは、KABUTO製品取扱店にてお買い求めください。
※パーツにカラーが設定されているものに関しては、お買い上げの販売店へご注文の際に、ご希望のカラーをお伝えください。
※製品の性能をさらに向上させるために、材質や仕様、価格等を予告なく変更する場合があります。予めご了承ください。
※パーツの詳細は、弊社Webサイト(検索:オージーケーカブト)でもご覧になれます。

●商品に関するお問い合わせ:

株式会社 オージーケーカブト **TEL: 06-6747-8031**
〒577-0016 大阪府東大阪市長田西6丁目3-4